

船橋市教育委員会会議臨時会会議録

1. 日 時 平成26年7月28日(月)

開 会 午後3時00分

閉 会 午後5時30分

2. 場 所 705会議室

3. 出席委員 委 員 長 山 本 雅 章
委員長職務代理者 石 坂 展 代
委 員 鎌 田 元 弘
委 員 篠 田 好 造
教 育 長 松 本 文 化

4. 出席職員 教育次長 松 田 重 人
学校教育部長 古 橋 章 光
管理部参事兼教育総務課長 二 通 健 司
学校教育部参事兼指導課長 松 本 淳
市立高等学校長 山 崎 成 夫
指導課主幹兼課長補佐 大 村 尚
※他に各教科指導主事として12名出席

5. 議 題

第1 議決事項

議案第43号 平成27年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級使用教科用図書の採択について

議案第44号 平成27年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について

6. 議事の内容

【委員長】

では、ただいまから教育委員会会議臨時会を開会いたします。

本日、傍聴者数を30名と設定しておりましたが、それを上回る58名の傍聴の申し込みがありました。教育委員会として協議した結果、本日の会議の傍聴者として申込者58名全員の受け入れが可能であると判断いたしましたので、本日の傍聴者58名全員の傍聴を認めることといたします。

傍聴人の方にお願いがございます。お渡しいたしました傍聴券の裏面に記載されてお

ります「傍聴人の遵守事項」について守っていただき、傍聴されるようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議案第43号「平成27年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級使用教科用図書の採択について」を議題といたします。

指導課、説明をお願いいたします。

【指導課長】

それでは、よろしくをお願いいたします。冊子の1ページをごらんください。議案第43号についてご説明申し上げます。

平成27年度に、船橋市立小・中学校並びに特別支援学校小学部・中学部並びに船橋市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書を採択するに当たりまして、船橋市教育委員会規則第3条第15号の規定に基づきまして、議決を得る必要がございますので、本議案を上程いたします。

本年度の教科書採択の事務につきましては、千葉県教育委員会から、次の5点ほかについて指導がございました。

まず第1に、小学校用教科用図書は、小学校用教科書目録（平成27年度使用）に登載されている教科書のうちから採択すること。2つ目に、中学校用教科用図書は、平成25年度に採択した平成26年度使用教科書と同一の教科書を採択しなければならないこと。3つとして、特別支援学校の小学部においては、小学校用教科書目録（平成27年度使用）に登載されている教科書のうちから採択すること。4つ目ですが、特別支援学校の中学部においては、学校教育法附則第9条の規定による教科書を除き、平成25年度に採択した平成26年度使用教科書と同一の教科書を採択しなければならないこと。5番目に、教科書採択の公正確保についてでございます。1つとして、採択権者の権限と責任において適正かつ公正に行う必要があり、外部からの不当な影響に左右されないこと。2つとして、教育委員会会議の適切な審議環境を確保し、公開で行う場合には傍聴に関するルールを明確に定めておくなど、適切な採択環境の確保に努めなければならないこと。3つ目、教科書発行者の宣伝行為についてもその実態を把握し、事前に適切な対策を講じること。4つとして、過大な宣伝行為、その他外部からの不当な影響等により採択の適正・公正の確保に関し問題が生じた場合には、採択権を有する者において適切な措置を講ずるとともに、速やかに千葉県教育委員会に報告すること。

以上が、指導の主な内容でございます。

このことから、本年度、教育委員の皆様へ採択についてご審議をお願いするのは、小学校用教科用図書と特別支援学校・特別支援学級で使用する学校教育法附則第9条の規定による教科書となります。中学校用の教科書につきましては、5ページの別表2にございますが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び同施行

令第14条によりまして、昨年度採択したものと同一教科書を採択していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ただいま事務局から説明がありましたとおり、平成27年度使用の中学校の教科用図書採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に基づき、平成26年度使用教科用図書と同一のものを採択することといたします。

なお、発行者及び書名については、議案として提出しておりますので、平成27年度使用教科用図書のとおりでございます。

異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

それでは、異議なしと認めます。

平成27年度使用の中学校の教科用図書として、全種目について、平成26年度使用教科用図書と同一のものを採択することといたします。

続きまして、小学校並びに特別支援学校及び特別支援学級の各種目の選定結果について説明をお願いいたします。

【指導課長】

それでは、続きまして、本年度採択についてご審議をお願いする小学校用教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書についてご説明申し上げます。

3ページをごらんください。平成27年度用の小学校用教科書は、別表1のとおりでございます。

次に、7ページから9ページでございます。別表3は、特別支援学校及び小・中学校特別支援学級用の教科用図書でございます。平成27年度の小学校用教科用図書、特別支援学校及び特別支援学級使用教科用図書の選定につきましては、この後、教育次長から報告をさせていただきます。教育委員の皆様には、各種目ごとに順にご審議をいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

なお、各教科書についてのご質問につきましては担当指導主事に答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【教育次長】

それでは、平成27年度の小学校用教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級で使

用する教科用図書につきまして、ご報告をさせていただきます。

初めに、選定委員会といたしまして、本日の報告に至るまでの経緯につきましてご説明をさせていただきます。

本年4月の教育委員会会議定例会におきまして、平成26年度船橋市教科用図書選定委員会設置要綱と専門調査員数についてご承認をいただき、5月の教育委員会会議定例会におきまして、選定委員会委員についてご承認をいただきました。

これを受けまして、5月19日に第1回選定委員会を開催し、小学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を種目別に調査・研究するために各種目別の専門調査員会を設置いたしました。専門調査員は、教育に対して豊富な経験を有し、各教科の教科用図書について識見を有する教職員でございます。

調査・研究に当たりましては、県教育委員会の選定に当たっての基本的な観点である「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」の4観点を重視するとともに、本市の児童生徒や教職員の実態や、教育振興ビジョン・教育振興基本計画への適合等についても考慮することといたしました。

7月7日に第2回選定委員会を開催いたしまして、専門調査員から提出された調査・研究結果をもとに、各種目ごとに選定する教科書について協議を行いました。

選定に当たっては、教育基本法の趣旨及びそれを受けた学習指導要領改訂の基本的な考え方、内容を踏まえた上で、船橋の児童生徒にとって学びやすいこと。教師にとって指導しやすいこと。本市の教育振興ビジョン及び教育振興基本計画に適合していること。に特に留意をいたしました。

以上が選定までの経緯でございます。

続きまして、各種目の選定結果について申し上げます。

それでは、国語について報告をいたします。

選定委員会では、教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」を選定いたしました。調査研究報告書の2ページから5ページに、各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑の中から、各社の教科用図書についてその特色をご報告いたします。

まず、東京書籍でございます。主体的な学習を通して確かな言葉の力が育つよう配慮され、各単元末に「言葉の力」として明示されている。9つの単元構成で、1単元の中に3領域1事項が組み合わせてある。四季折々の自然や暮らしにかかわる言葉や詩歌を味わう「日本語のしらべ」という単元が配置されている。挿絵や写真、図表が色彩豊かで理解を助け、想像を膨らませます。B5判で、5・6年はそれぞれ合本である。

続きまして、学校図書でございます。読み物には「てびき」がついており、自学ができるよう配慮されている。また、読書活動を大きく取り上げている。12単元で構成され、単元ごとにねらいを絞った形で配列されている。落ちついた色調でまとめられてい

る。B5判で全学年上下2巻となっている。

続きまして、三省堂でございます。各教材の後に手引きがついて主体的に学習が進められるよう配慮されている。11の単元から構成されており、それぞれねらいを焦点化し、全学年同時期に同じ領域の単元が置かれている。古典教材は分冊の資料集に掲載されている。挿絵が多く、写真は少な目である。1年生は上下2巻、2年生以上は、本冊と必要に応じて参照できる資料集の2分冊構成となっている。

続きまして、教育出版でございます。子供たちが主体的に学ぶために、何のために何をどのようにして学習するのかをわかりやすく示している。教材に関連した本の紹介や読書活動が具体例とともに設定されている。15単元から構成され、3領域1事項がバランスよく配置されている。また、古典の扱いが充実している。控え目な色調で挿絵や写真がきれい。全学年上下2巻で構成されている。

最後に、光村図書でございます。主体的に学べるよう目標と学習内容が明示され、領域マークが効果的に配置されている。学習活動の例示も多い。低学年は13単元、中学年は11単元、高学年は9単元で構成されている。四季折々の季節の言葉が美しい写真とともに配置されている。美しい挿絵や写真、図表などが多数掲載されている。4年生までは上下2巻、高学年は合本である。

専門調査員との質疑の中で、各教科書とも学習指導要領の改訂の趣旨が反映されていることを確認し、また、本市の教員の実態として若い教員が増えたことを考慮すると、主体的な学習に取り組むためには、学習の仕方を丁寧に示し、具体例が多いものが子供にとっても教師にとっても扱いやすいという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で協議した結果、光村図書と教育出版の2社のものが主体的に学習に取り組むための工夫があり、本市の子供たちの実態に合っており、船橋の教育振興基本計画にある国語力の向上に適しているということになりました。

そこで、さらに2社につきまして、伝統的な言語文化の取り扱いや、本市が力を入れている読書活動との関連などについて協議を進めた結果、教育出版は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」がバランスよく取り上げられている。伝統的な言語文化について適切に扱われている。指導の手だてがわかりやすい。読書活動、学校図書館の活用について充実している。文法などの言葉の学習が発達段階に応じて系統的に扱われている。写真や挿絵、図表などの資料が適切で充実しているなどの意見があり、最終的に、全員一致で教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」を本市の小学校の国語教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま国語に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【鎌田委員】

すみません、ご説明はあったのですが、ちょっと詳しく教えてください。教育出版と光村図書に絞り込んで比較したということですが、観点の1の(4)に、話題や題材が地域性を考慮した内容に広がりを持っているというのがありますけれども、特にこの点に関して、教育出版と光村の違いというのがありましたら教えてください。

【指導課副主幹（国語科指導主事）】

今、質問があったことですが、教育出版の教材につきましては、話題、題材ということで、船橋市のそれぞれの地域でその教材が使えるかどうか。例えば一つの例を挙げますと、3年の下巻の教科書、「まちの行事について調べよう」という教材がございます。ページ数で言いますと86ページになります。ここでは、地域の行事について調べ、クラスで報告し合おうということ、調べたいことを決めてその内容を話し合う。そしてそれを報告していくという学習活動になるわけですが、ここでは、船橋市にそれぞれの地域がございますが、3年生でございますので、その地域の学習について、自分たちの地域ではこんな行事が行われているのではないかと、そういうことをそれぞれ調べることができると思いますし、そのためのモデルといたしまし、こんな学習を進めていくと皆さんも自分の地域のことについて伝えることができる、そういう学習ができますよということがあらわされております。これは一つの例でございます。

光村図書のほうでも同じような例がございますが、一つ違うのは、5年生の108ページでございます。そこに、地域とのつながりを強くしようということで防災訓練のことが出ています。光村図書のほうは、編集趣意書にもございますが、農村とか漁村とか都市だとか、それぞれの地域的な偏りを避けるということが大きな特徴というか、配慮されているところでございまして、どこの地域でも同じように学習できるということで防災訓練ということ。防災訓練につきましてはどこでも行われている。そういうふうなものを取り扱って進めていきましょう。教育出版のほうは、自分たちの住んでいるところの行事についてその特色を調べましょう。そういうふうな形で、地域にどのように子供たちが目を向けるかということで、目の向けさせ方が少し違うように思います。

【鎌田委員】

大変よくわかりました。特に教育出版のほうは、共同学習というか、子供たち同士がアドバイスし合う場面であるとか意見交換や感想を述べ合う、そういうのがセットでさ

れていて、方法論と内容と両方すぐれているというのが大変よく理解できました。ありがとうございました。

【委員長】

そのほか、何かご意見、ご質問等ございますか。

私、一つ、日本人として敬語がすごく大事だと思うのですが、敬語の取り扱いなんかは、教育出版はしっかりしておりますか。

【指導課副主幹（国語科指導主事）】

されております。

【委員長】

そうですか。そのほか、何かございますか。

よろしいですか。

それでは、国語の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する国語の教科用図書として、教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」を採択いたします。

続きまして、書写についてご説明をお願いいたします。

【教育次長】

書写についてご報告いたします。

選定委員会では、教育出版の「小学 書写」を選定いたしました。調査研究報告書の6ページから9ページに、各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書につきまして特色をご報告いたします。

まず、東京書籍でございます。学習の手順や考える視点を提示し、主体的に学習が進められるよう工夫されている。低学年では、シールを使って自己評価できるよう工夫さ

れている。半紙の縦横比を考慮して、教科書の横幅が広い変形判である。

学校図書です。学習の仕方や毛筆学習の進め方を明確に示し、主体的に学習を進められるよう配慮している。大きな文字ですっきりと見やすい紙面である。資料や写真が充実している。

次に三省堂です。大きな文字で学習のめあてが明確に示されており、考えて書くという活動を重視している。書き込みスペースが多く、一部練習帳も兼ねるような構成となっている。

次に教育出版です。基礎・基本を重視し、入門期の指導が充実している。姿勢や鉛筆、筆の持ち方の取り扱いが丁寧。小さな折り込みでいつも姿勢を意識させる工夫がある。毛筆学習の成果が確実に硬筆学習につながるよう配慮されている。

次に光村図書です。学習の流れが明確に示され、文字の大きさやイラスト、マークを効果的に使い、わかりやすく学べる工夫がある。毛筆、硬筆の学習が適切に配列され、確実に学習できるような構成である。

最後に日本文教出版です。学習の進め方が明確で、考えて学ぶことが重視されている。日常生活での活動を取り上げるなど、文字に対する興味・関心を高める工夫がされている。

専門調査員との質疑の中では、姿勢や筆、鉛筆の持ち方、そして準備から後片づけまで学習の基礎・基本として大切であり、そのような点の取り扱いが充実しているほうが若い教員など経験が浅い指導者にとっても指導しやすい。国語の教科書との関連は重要で、国語で学んだ文章を書くなど、国語の学習の深化とも密接につながっているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で協議した結果、教育出版は、筆の持ち方、鉛筆の持ち方を含めて系統立ててしっかりと取り扱っている。国語の教科書との関連がある。基礎・基本を大切にしている。道具の準備から後片づけまで丁寧に扱われている。手本として使いやすいなどの意見があり、全員一致で教育出版の「小学 書写」を本市の小学校の書写の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま書写に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【石坂委員長職務代理】

書写につきましてはたくさんの方が出版社がございまして、どの教科書も甲乙つけがたいという印象を受けましたので、今お話しいただきました国語との関連が重要であると、

その部分についてわかりましたので、これでよろしいかと思えます。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かございますか。

よろしいですか。

それでは、書写の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した教育出版の「小学 書写」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する書写の教科用図書として、教育出版「小学 書写」を採択いたします。

続きまして、社会の審議に移ります。社会について説明をお願いいたします。

【教育次長】

社会についてご説明いたします。

選定委員会では、東京書籍の「新編 新しい社会」を選定いたしました。調査研究報告書の10ページから12ページに、各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書についての特色をご報告いたします。

今回、社会は、全社がAB判となっております。

まず、東京書籍です。学習過程や学習内容が明確で、主体的に問題解決に取り組むよう配慮されている。資料が豊富で、番号が振ってあり、授業で使いやすい。重要語句は欄外に抜き出し、本文中はゴシックで表示している。

次に教育出版です。問題解決的な学習の進め方、調べ方や考え方、資料の活用の仕方が明示されている。まとめは、重要語句でワークシートを埋めていく方式で統一されている。

次に光村図書です。調べたことをもとに話し合う活動を明記し、言語活動の充実に配慮している。まとめ方は多様な方法を紹介している。資料は厳選されている。

最後に日本文教出版です。「ふりかえってみよう」で多様な表現活動を通して、思考力、判断力、表現力の育成が図れるよう配慮されている。イラストや復元模型の提示が多い。

5年生の地理以外に、6年生の歴史でも領土問題を取り扱っている。

専門調査員との質疑の中で、船橋市の社会科の学習には、単元を貫く大きな学習問題と各時間ごとの小さな学習問題で構成されているものが適していること。学習の流れがわかりやすいものがよいこと。領土問題についてはいずれも適切に取り扱われていることなどを確認いたしました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で協議した結果、東京書籍は、資料も豊富で扱いも丁寧である。思考力、資料活用能力、表現力などがバランスよく取り扱われている。学び方コーナーやまとめの仕方など、随所に工夫が見られる。近現代史のさまざまな考え方、多面的にバランスよく配置しているなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「新編 新しい社会」を本市の小学校の社会の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま社会に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【篠田委員】

領土についての各出版社の違いについて、簡単に教えてください。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

領土の扱いについては、基本的なスタンスといたしまして、法令に基づいたかどうかという観点、すなわち、学習指導要領に示された内容が適切に扱われているかどうかということになります。学習指導要領、5年生で我が国の位置と領土について学習しております。「学習指導要領解説 社会科編」では、我が国の領土と位置を調べる。我が国の国土を構成する北海道、本州、四国、九州、沖縄と北方領土などの主な島の名称と位置、我が国の領土の東西南北の一番端の部分、日本列島の周りの海を取り上げ、地図帳や地球儀などで具体的に調べ、子供たちが白地図にそれを書きあらわす。そのことによって我が国の位置と領土を具体的に捉えるように指導しております。

また、その際、領土について、北方領土についても取り上げます。我が国固有の領土であり、歯舞・色丹・国後・択捉島、現在、ソ連に引き継ぎロシア連邦に不法に占拠されていること、そして、我が国が一貫してその返還を求めていることについても触れるようにするとあります。この点につきましては、全社適切に記述されていました。

また、今回の教科書の改訂において、竹島と尖閣諸島につきましても全社が記述しております。ただし、空間的な把握についての記述、把握のしやすさ等、工夫には違いが見られるとの報告がありました。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。よろしいですか。

【篠田委員】

はい。

【委員長】

そのほか、何かご意見、ご質疑はございますか。

【鎌田委員】

領土という観点も重要なのですが、もう一つ、観点の1の(4)、地域性への適合という中に、社会参画や体験を考慮した事例というような観点が述べられているのですけれども、その観点から見たこの教科書の特徴というのはどのようなものなのでしょうか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

小学校の社会科の目標は、「社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とあります。平成20年の改訂では、環境や防災、情報化、法や経済の基盤など、よりよい社会の形成者としての参画する能力、それにかかわる内容の充実が図られることとされています。教科書においては、学習成果をまとめた後に、社会の中で自分が果たすべき役割、何ができるか、するか、そのような社会的な事柄に参画・提案する場面を設けております。東京書籍では「いかす」というページが設けられております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。よろしいですか。

【鎌田委員】

学習段階の中の「つかむ」「調べる」「まとめる」の最後に「いかす」、そこがうまくつながっているという意味ですね。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

そのとおりです。

【鎌田委員】

了解です。

【委員長】

そのほか、何かないですか。

【教育長】

今の説明とも関連するかもしれませんが、特に今回の新しい教科書で際立った特色はほかに何かありますでしょうか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

特に3. 1 1の大震災以降、自分が何ができるか、特にボランティア等の社会参画という視点で、また、船橋の社会科も社会参画という研究主題で研究しております。そういう意味においては、今回どの教科書も、震災を受けての、一人一人の国民が何ができるかという視点において社会事象を取り上げております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かございますか。

では、私から。社会は、取り上げる資料によって随分授業の進め方も変わってくると思いますけれども、東京書籍のものは、指導要領にのっとって使いやすい教科書になっておりますか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

現在の東京書籍の教科書を使っている先生たちにとっては、非常に流れがつかみやすく、また、何をどのように教えるか指導しやすいと好評です。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

それでは、社会科の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新編 新しい社会」を採択するものとしてよろし

いでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する社会の教科用図書として、東京書籍の「新編 新しい社会」を採択いたします。

続きまして、地図について説明をお願いいたします。

【教育次長】

社会（地図）についてご説明いたします。

選定委員会では、帝国書院の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年」を選定いたしました。調査研究報告書の14ページから15ページに、各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書について特色をご報告いたします。

まず、東京書籍でございます。キャラクターを登場させ、知的好奇心が喚起されるような工夫がある。地名の数を絞り込み、文字を大きく表示している。日本の国土について排他的経済水域を地図上で明確に示している。世界遺産や自然災害に関する資料を提示している。A4判で反射しにくい紙面である。

次に帝国書院です。キャラクターを使って地図の着眼点に気づかせるよう工夫している。国土の定義と範囲を領海や領空の概念も取り入れて示し、尖閣諸島や竹島も写真と文章で紹介している。気象地図や産業地図の情報量が豊かで、索引で旧町村名から現在の市町村名がわかるように示されている。鮮やかな色合いで地勢が捉えやすい。

専門調査員との質疑の中では、どちらの地図帳も学習指導要領の目標に準拠し、発達段階に即して活用できるよう工夫されていること。領土の扱いについて適切であること。教科書の大きさは違うが、使われている地図の縮尺は同じであること。小学生が使う地図帳の情報量や見やすさについて、両者の基本的な考え方に違いが見られることなどの報告がありました。

選定委員会で協議した結果、帝国書院は、情報量が豊かでわかりやすい。多様な関心を持った子供たちがさまざまな場面で使う上で情報量が多いことは重要である。地名が多く記載されている。領土問題についての記述もすぐれている。縮尺をそろえて大きさ・面積などの比較からイメージできる工夫があるなどの意見が出されました。一方で、東京書籍の反射しにくい紙面は見やすい。小学生の地図帳としてどのくらいの情報量があればいいのか、今後検討することも必要であるなどの意見があがり、最終的には、全員

一致で帝国書院の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年」を本市の社会科（地図）の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま地図に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【石坂委員長職務代理】

具体的に地図帳について、それぞれページで、例えば帝国書院のほうがよろしいというところを教えてくださいませんか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

帝国書院につきましては、地図帳の老舗というような出版社でございます。地図帳の5ページ、6ページを見ていただきたいのですが、地図帳は、基本的には国土地理院の地図に基づいて地図の約束、地図記号等で作られております。ゆえに、その内容を小学校3年生から使用するわけでございますけれども、実物を写真を使って丁寧に取り扱っています。

同じく、東京書籍の9ページ、10ページをご覧ください。先ほどの帝国書院と同じように、まず、地図帳の使い方について触れておりますが、両社の違いにつきまして、まず、帝国書院の地図帳は、地図の昔からの基礎・基本、原理原則というものを貫いております。それに対して東京書籍の地図帳の使い方は、ありていに言えば今風、わかりやすい、おもしろい、楽しいというのが両社の違いでございます。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かご意見、ご質問は。

【鎌田委員】

その辺ですと、地図を読み取る楽しさというか、いろんな地図を記号として見るだけでなく考える楽しさとか、そういう点が帝国書院はすぐれているという言い方ができるのでしょうか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

地図は、歴史よりも歴史が古いです。古代エジプト、メソポタミア、まず地図があつて、それから歴史が始まっております。地図にはそれぐらい非常に重要な情報が入っております。ぱっと見では、我々高齢者の目から見ると見えづらいという大きな欠点がございますが、逆に小学校3・4年生あたりから、地図からいろいろな情報を探す・つかむ、それがまた地図帳のメリットでもあります。ゆえに、小学生が実際に地図を使うときには、教師には見えないような情報をいかに探し当てるか、それがまた子供たちの学習に関する関心・意欲、そして知識・理解につながっていく側面があることも現場の先生たちからはよく聞きます。

以上です。

【鎌田委員】

わかりました。

【委員長】

そのほか、何かございますか。

私から。教科書は東京書籍ですね。東京書籍の地図があるんだけども帝国書院を選んで、授業や何かやりにくいということはございませんか。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

今まで使っていてそのような声は聞いておりません。教科書は東京書籍、地図帳は帝国書院でやっておりますが、現場ではそのような声を聞いたことはありません。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。記載の統一性というのが東京書籍に統一したほうがあるような気もするのですが、それも大丈夫なんですね。

【指導課長補佐（社会科指導主事）】

教科書は教科書、地図帳は地図帳と我々は捉えております。

以上です。

【委員長】

そのほか、何かございますか。

それでは、地図の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した帝国書院「楽しく学ぶ 小学校の地図帳 4・5・6年」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

私は、東京書籍のほうがいいかなと考えています。地図帳は、発達段階で、中学生は中学生用の地図帳がありますし、そういう意味では、入門編としては東京書籍のほうが見た目すぐれているかなと考えます。教科書は東京書籍で地図が帝国書院で不都合はないということですが、統一してもいいのかなということで、東京書籍がいいかなと考えました。

ということで、今、私からその理由を説明させていただきましたけれども、全員一致ではないので、投票をさせていただきたいと思います。

それでは、事務局は、各委員に投票用紙を配付してください。

配られました投票用紙に、私が推薦した東京書籍か、選定の帝国書院か、どちらか発行者名を記入していただいて投票をお願いします。

また、投票用紙を裏面にして伏せてお待ちください。

(投票用紙配付)

【委員長】

それでは、投票していただきますが、まず、投票箱の中に何も入っていないことを確認してください。

(投票箱点検)

【委員長】

それでは、投票してください。

(投票・開票)

【委員長】

それでは、開票の結果を発表いたします。

東京書籍、1票。

帝国書院、4票。

平成27年度本市立小学校において使用する地図の教科用図書として、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年」を採択いたします。

続きまして、算数の審議に入ります。

【教育次長】

算数についてご説明いたします。

選定委員会では、啓林館の「わくわく 算数」を選定いたしました。調査研究報告書

の16ページから19ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書について特色をご報告いたします。

まず、東京書籍です。基礎・基本定着のための問題が充実している。説明の仕方やノートづくりを重視している。既習内容を確認するコーナーがあり、反復して系統的に学習できるよう配慮されている。1年から5年は上下2巻構成で、6年は合本である。

次に大日本図書です。考えや理由を説明するために教科書に書き込める工夫がある。日常生活に結びつけて算数の問題場面が理解できるよう、身近な素材や写真を取り上げている。全学年合本である。

次に学校図書です。作業的・体験的な学習活動を適切に取り入れる工夫がある。多様な考え方を紹介し、丁寧に説明している。学習内容を活用し、思考を深めるコーナーを設けている。1年から4年は上下2巻構成、高学年は合本である。

次に教育出版です。単元の見通しを持たせ、主体的に学習を展開していけるよう配慮している。単元ごとにまとめのページを設け、4コマ漫画と吹き出しで楽しく振り返り、基本的な知識を確実に身につけるための設問が用意されている。1年から4年は上下2巻構成、高学年は合本である。

次に啓林館です。既習を振り返り、単元全体を見通した課題を設定し、既習と結びつけたり比較したりしながら、問題解決的な学習に取り組みやすいよう配慮されている。思考力、表現力を育成するために、根拠を明確にして説明することを重視している。発展的に思考する問題も用意されている。1年から4年は上下2巻構成、高学年は合本である。

最後に日本文教出版です。既習事項を復習して新しい学習につなげることができるよう工夫されている。各ページに学びの方向性が詳しく示され、自ら学べるよう工夫されている。児童の興味・関心や能力に応じて活用できるコーナーがあり、思考を深める配慮がある。1年のみ合本で、ほかは上下2巻構成である。

専門調査員との質疑の中では、各教科書とも作業的・体験的学習への配慮があること。問題解決的な学習が適切に構成できる教科書が本市に適していること。児童の理解度やスピードに応じて対応できる教科書が望ましいこと。具体から抽象へと移る中学年の時期を丁寧に扱うよう考慮されているものが望ましいことなどが確認されました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、啓林館は、問題解決的な流れがしっかりできている。問題のきっかけや振り返りが提示されている。子供たちの思考過程を大切にしている記述である。スペースやレイアウトの工夫があり、使いやすい。思考力や表現力の育成を重視しており、思考力の高い子にも対応できる。若手の教員が教材研究をして基礎・基本を身につけていくのに適しているなどの意見があり、全員一致で啓林館の「わくわく 算数」を本市の小学校の算数の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま算数に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【鎌田委員】

私も各社見させていただきましたが、啓林館は、考えを広げようとか、読み取る算数であるとか、算数でよく使う考え方とか、非常に思考力が重視されていて、特に算数というのはそういう観点は大変重要だと思いますので、啓林館を推薦というのは大賛成です。

【委員長】

ありがとうございます。

【教育長】

船橋では、現在、算数・数学科における思考力・表現力の育成を目指しまして、「算数・数学チャレンジふなばし」というのを実施しておりますけれども、啓林館の教科書は、思考力・表現力の育成に適している、問題解決学習等を取り入れて思考力を向上させる教科書だということをお聞きしましたので、採択したいなと思っております。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか。石坂委員。

【石坂委員長職務代理】

確認ですけれども、算数は家庭学習も大変多いかと思っておりますので、子供たちが家に帰ってひとりで頑張らなければいけない部分もたくさんあると思っております。その際、啓林館の教科書は適しているということでしょうか。

【指導課副主幹（算数科指導主事）】

どの教科書も問題に関しては家庭学習できるような宿題が用意されております。ただ、その量の適切性だとか、先ほど発展学習の話も出ましたけれども、啓林館におきましては、どのページがどういう内容であるかというのが児童が見ても理解できる。そういう面では非常に見やすいレイアウトになっております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かございますか。

では、私から。算数嫌いとか理科嫌いという子供が結構いるんですけども、これは最初の入り方から間違ってしまうと最後まで行ってしまうというような感じを持っております。実際的に大きくは2つぐらいあるのかなと思いますけれども、算数は何のためにやるのかよくわからないということで、実生活に即したというか、具体的に実生活に生かせるような算数的な思考を育むようになっている教科書がすぐれているのかなと思います。

それと、もう一つ、100点取ったというとまた余計やりたくなるのですけれども、そういうときに算数の基本的な約束事が大事になってくるのではないかと思います。そこら辺をしっかりと扱っている教科書がすぐれている教科書だなと素人で思うのですけれども、そこら辺、啓林館はいかがですか。

【指導課副主幹（算数科指導主事）】

これも6年生の教科書等になれば、高学年ですので、どの教科書も、比の問題であれば、ドレッシングの割合だとかコーヒー牛乳の割合ということで内容的には余り大きく変わりません。例えば6年の教科書、啓林館の110ページ、111ページをごらんいただくと、縮図の利用というのが出ております。ほかの教科書にも縮図の利用が出ております。例えば東京書籍であれば、103ページに縮図の利用が出ております。それを比較していただくと、子供たちが縮図の利用というのを身近に感じて、どのようにはかり、どのように算数が生かされているかということを作業的なものを通じて行っているのは、明らかに啓林館のほうで、1枚地図を使っています。それから、問題が小さいだけではなくて、ほかの教科書では同じページに縮尺の意味とか計算のヒントみたいなものが出ておりますので、そういうものが同じページの中にありますと、子供の思考としては、みずから考えるというよりも参考書的にそれを読んでしまうようなところがありますので、啓林館のほうはその点は活動しやすいと考えております。

以上です。

【委員長】

基礎的な計算能力とか、そういうものを高めるような工夫もされていますか。

【指導課副主幹（算数科指導主事）】

それにつきましては、各ページの中で確かめ、練習ということで、基礎・基本を重視

したのもきちんと盛り込まれております。
以上です。

【委員長】

ありがとうございました。
篠田委員。

【篠田委員】

啓林館は、すごく入りやすいとかつかみやすいとか、先生も多分教えやすいのではないかなと思います。5・6年生は年間で1冊になっており、3・4年生は上下で、1年生は1冊ですね。その辺、分かれているところは何か違いがあるのですか。

【指導課主幹】

算数に限らずなんですけれども、各教科の教科書を見ますと、上下に分かれているもの、1年間1冊の合本のもの、それが何年生は合本で何年生は上下巻だというのはいろいろございます。これは各出版社の検討の結果だろうと思いますけれども、専門調査員の報告の中で、例えば算数の学習で、前の学習に振り返って立ち戻って、その学習を確認してこれからの学習に入るといえるときには、合本のほうが使いやすい部分があるという報告がございました。

ただし、合本にしますと一冊が厚くなって重くなるということもございまして、そういった面のメリット、デメリットがあるのですが、最近では、紙の研究だと思いますけれども、合本にして厚くなっているけれども、重さがそれほど重くない教科書といった造本の工夫も見られました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。
そのほか、何かご意見、ご質問ございますか。
よろしいですか。

それでは、算数の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した啓林館「わくわく 算数」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する算数の教科用図書として、啓林館「わくわく 算数」を採択いたします。

続きまして、理科の審議に移ります。

【教育次長】

理科についてご説明いたします。

選定委員会では、東京書籍の「新編新しい理科」を選定いたしました。調査研究報告書の20ページから23ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書についての特色をご報告いたします。

今回、理科の5社は、全てAB判合本となっております。

まず、東京書籍です。学習の進め方が大きな文字で明確に示されており、今、何を学習しているかがわかりやすい。話し合い活動のヒントを吹き出しで示し、言語活動の充実に配慮している。観察・実験の準備や手順が丁寧に示されており、実験結果のグラフ化など細かな工夫があり、観察・実験を行いやすい。注意点については赤字で明確に表記し、安全に配慮している。学年に応じて楽しく学べる付録がついている。

次に大日本図書です。学年に応じた理科の学習の進め方を示し、問題解決的な学習を計画的に進められるよう、観察、実験の方法や資料が豊富に掲載されている。科学者やその功績が紹介され、理科と実社会とのつながりを意識させる工夫がある。写真やイラストが見やすくきれいである。

次に学校図書です。既習経験を確認し、問題解決的な学習が深められるよう工夫されている。学習の段階や学習の流れを示すマークが使われており、主体的な学習や言語活動の充実に意識した構成となっている。実験器具の扱いなどが巻末に丁寧に掲載されている。科学者の業績や言葉が紹介され、実生活との関連に関心を高める工夫がある。

次に教育出版です。関連する学習を「学習のつながり」として示し、系統性や学習の広がり意識した構成となっている。実験の手順や実験器具の扱いは丁寧に書かれており、実験データの例示も多い。巻末の資料が充実している。注意と危険のマークを用いて安全に配慮している。

最後に啓林館です。単元の終わりに「まとめよう」「たしかめよう」があり、学習内容を再確認し、基礎・基本の定着に配慮している。話し合い活動を重視しており、話し合いのヒントになるような記述がある。巻末の「算数のまど」で算数との関連について丁寧に説明している。分冊のワークシートがあり、学習の前後に自分の考えを書き込むようになっている。

さらに、専門調査員との質疑の中では、どの教科書も、教育基本法の趣旨及びそれを

受けた学習指導要領改訂の基本的な考え方・内容を実現する上でよく工夫されている。理科の学習と実社会との関連については各社とも工夫しており、理数教育の充実に資するものであるとの報告がありました。さらに、若い先生方が多い船橋の実態から、観察、実験の方法が丁寧に記述してあり、児童にも先生にも観察、実験を行いやすいものが適しているとの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で、東京書籍と大日本図書の2社を中心に比較しながら検討し、協議を進めたところ、東京書籍は、学習の進め方が明確でわかりやすく示されている。話し合い活動が充実するような工夫がある。観察・実験の準備や安全への配慮などが丁寧かつ明確に示されている。実験データの扱い、グラフ化などに工夫がある。図や写真が大きくきれいで惹きつけるものとなっているなどの意見があり、最終的に、全員一致で東京書籍の「新編新しい理科」を本市の小学校の理科の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま理科に関しての説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【鎌田委員】

理科の観点の2番、組織・配列についての(1)系統性というところですが、児童の発達の段階を踏まえて内容の構造化が図られているかという点があるのですが、その「内容の構造化」というのがわかりにくいので、具体的に教えていただきたいのと、東京書籍はその点がどのようにどうすぐれているのか、具体的に教えてください。

【指導課副主幹（理科指導主事）】

今言われた内容の構造化ですけれども、中学校で言うところの物化生地という言葉聞いたことがあると思いますが、物理、化学、生物、地学、もちろん小学校にはそういった言葉はありませんが、それに相当するような言葉でありまして、今言った組織・配列、小学校の場合は物質とエネルギーがAです。それから、Bのほうが生命と地球。また中学校に戻りますが、1分野、2分野で取り扱った内容、そういったものが構造的に整えられているということです。それがそれぞれの教科書も多少工夫はされていますが、東京書籍はわかりやすいように配列されているということです。

それから、東京書籍がその点わかりやすいのはどこかという質問がありましたが、6年生の教科書をあけていただくと、巻頭のところに黄色の部分と青い部分があります。実はこの黄色の部分が今言ったA区分になり、青いところがB区分になります。ずっと

単元を開いていきますと、例えば64ページ、65ページを見ると、「生き物の暮らしとかんきょう」というところがありまして、大きな写真が出ていてその脇に青い部分があると思います。そうすると、巻頭のところの今申し上げた生命・地球の方になるということ、そういったところが非常にわかりやすくなっています。

【委員長】

そのほか、何かご意見、ご質問ありますか。

【鎌田委員】

ここはいいなと思いましたが、緑のラインがずっと引かれていて、問題とか観察とか学習過程が各学年統一してどの段階かというのがあるんです。そういう点でも構造化と体系化がわかりやすく表現されているといった点で、大変よくできた教科書だなと私も思いました。ありがとうございます。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かご意見、ご質問ございますか。

【石坂委員長職務代理】

理科のご説明の中に、問題解決的な学習といいますか、問題解決能力の育成ですとか、問題解決のための観察・実験の方法という言葉がたくさん出てきますけれども、これは特別な理科のやり方といいますか、東京書籍を使ったものがよろしいということによろしいでしょうか。

【指導課主幹】

今ご説明にありましたように、理科で問題解決の学習がということと、算数のときにもそういったことが出てきたかと思えます。この後もいろいろな教科で問題解決的な学習というような説明が出てくるかと思えます。この問題解決的な学習というのが、全国一律のこういった方式があるというわけではございません。教科によったり、地域によったり、問題解決的な学習でもスタイルがいろいろとございます。対極になると思うのが、講義解説型の授業ということで、これと反対の授業というふうにイメージできるかと思えますけれども、理科に限らず、最初に教科書だとかいろいろな資料だとか、不思議な実験などを子供たちに見せて、そこで興味あるいは疑問を持たせて、それから自分たちで解決すべき問題をはっきりさせて、その後、実験したり、調査したり、インタビューしたり、そういった主体的な学習活動を組み立てます。そこでわかったことは何か、考えられることは何か、自分たちはどうしていったらいいのか、そういった学習を構成

して、子供たちの知識の習得はもちろんですが、思考力、判断力、表現力、そういったものをこの学習の中でやっていこうということ。こういったスタイルの学習の総称として「問題解決的な学習」ということを使っております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか、何かご意見、ご質問ございますか。

では、私から。先ほど算数のところでも発言させてもらったのですが、算数嫌い、理科嫌い、恐らく理科嫌いが一番多いのかなというのは、学校の先生でも、理科の授業がうまくできないで、教員免許を持ちながら大学で補講を受けているというのが報道されることがよくあるのですけれども、理科が不得意になるのは、やはり実生活とかけ離れているような感覚を、本当は違うと思うのですけれども、持ってしまうところが一番問題だと思います。特に小学校入門から少し発展するわけですが、そういう意味で理科的な興味を持てるような構成になっている。東京書籍、大日本図書もそうみたいですけれども、そういうのがすぐれた教科書かなと。根本的なものですが、というふうに思いました。東京書籍はそういう意味でもすぐれているのかなと考えました。

そのほか、何かございますか。

よろしいですか。

それでは、理科の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した東京書籍「新編新しい理科」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する理科の教科用図書として、東京書籍「新編新しい理科」を採択いたします。

それでは、ここで10分間の休憩に入ります。この時計で25分から始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(休憩)

【委員長】

それでは、再開いたします。生活の審議に移ります。

生活について説明願います。

【教育次長】

生活についてご説明いたします。

選定委員会では、大日本図書の「新版 たのしい せいかつ」を選定いたしました。調査研究報告書の24ページから28ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書についての特色をご報告いたします。

まず東京書籍です。導入段階で、幼児教育からの接続に配慮した活動が設定されている。学習の流れをつかみやすく、活動意欲を引き出す工夫がある。各地の伝統行事が取り上げられ、季節を追って紹介されている。

大日本図書です。季節に沿った大単元構成で、児童の意識に沿った無理のない活動展開ができる。躍動感ある活動場面や没頭する真剣な児童の顔の写りが使われており、児童の意欲を引き出す紙面構成である。透明シートなどの楽しい工夫がある。

学校図書です。大単元がそれぞれ絵本のようにストーリー性があり、読みやすい。登場人物の成長の道筋に沿った活動が展開されるよう工夫されている。児童の主体的な活動を支援する資料が掲載されている。

教育出版です。活動に広がりや深まりを持たせるために、学習カードなどの記録をもとに振り返り、関連を持たせるよう構成が工夫されている。活動で何を学ぶのかがわかりやすく表示されている。

光村図書です。いずれの活動も「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成しており、活動に広がりや深まりを持たせるよう工夫されている。「どうすればいいかな」のコーナーなど、自ら考えさせ、活動を支援するための手だてが工夫されている。

啓林館です。児童の気付きが深まるよう、「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」の3段階で構成されている。別冊の「たんけんブック」など、児童の活動を支援する手だてが工夫されている。

最後に日本文教出版です。同じ公園で繰り返し活動する中で、季節の変化やさまざまな気付きが深まるよう、構成上の工夫がされている。活動のきっかけや表現のヒントとなるよう、豊富なカード例が掲載されている。

さらに、専門調査員との質疑の中で、どの教科書も学習指導要領の目標に即しており、児童が関心を持って学習活動ができるよう構成されている。また、安全に関する内容も全ての教科書で扱っていると報告がありました。生活科では、活動の中で児童が気付くこと、そして、その気付きの質を高めていくことが大切であり、教科書で活動の楽しさを児童に印象づけて惹きつけるもの、児童の意識の流れに沿って無理なく活動が連続し

ていくものが適切であるとの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、大日本図書は、子供たちにやってみたいと思う気持ちを持たせる魅力ある紙面構成である。四季の流れに沿って無理なく自然に取り組んでいける配列である。興味づけとその持続を図る面で適切な記述である。本市の気候に合っていて使いやすいなどの意見があり、選定委員会では、全員一致で大日本図書の「新版 たのしい せいかつ」を本市の小学校の生活の教科書として選定をいたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま生活に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等がございますでしょうか。

【教育長】

今の説明で、大日本図書は、児童の意識に沿った無理のない活動展開ができるというご説明でしたけれども、具体的にはどういうところを指しているのか、お教えてください。

【指導課副主幹（生活科指導主事）】

大日本図書の教科書のまず栽培のところはわかりやすいので、上巻の20ページをご覧ください。20ページ、「はなや やさいを そだてよう①」という単元名がついています。ここでまず最初にアサガオを中心とした栽培活動が始まります。ほかの教科書は、栽培は全部一つの単元にまとめて書いてあるのですが、大日本図書は、途中で別の単元を挟んで、次、38ページをご覧ください。「はなや やさいを そだてよう②」ということで、今度は花が咲いたころの成長の様子を学習する単元になっております。さらに別の単元を挟んで、60ページをご覧ください。「はなや やさいを そだてよう③」ということで、結実、それから種とりの学習、このように、季節に沿って、教科書に沿って学習が進められるように単元が配列されているのは大日本図書だけでございます。

以上です。

【教育長】

わかりました。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか何かご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

最近、嫌な事件が非常に報道されているのですけれども、子供たちがいろんな事件に巻き込まれないようにするために、安全と防犯意識というのが非常に大事だと思うのですけれども、その辺についてはいかがですか。

【指導課副主幹（生活科指導主事）】

今回の教科書は、1社を除きまして全ての教科書で安全・防犯に関する記述が充実しております。大日本図書は、学習の流れに沿って単元の中に安全・防犯に関する記述がされています。例えば、上巻の27ページをご覧ください。「わたしの つうがくろ」ということで、27ページの右下のほうに歩くときの注意事項が書かれています。さらに、34、35ページをご覧ください。「『あぶない！』じぶんをまもるために」ということで、見開きのページを使いまして防犯について記述されています。大日本図書は安全・防犯に対する記述が大変充実しております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか何かご意見、ご質問等ございますか。

鎌田委員。

【鎌田委員】

今のご指摘の箇所に加えて、生活習慣であるとか、命の大切さの教育であるとか、家族の大切さの教育も、ざっくり見たところですが、他社に比べてはすぐれているような気がしました。その辺はどうでしょうか。

【指導課副主幹（生活科指導主事）】

おっしゃるとおりだと思います。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほかよろしいですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、生活の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した大日本図書「新版 たのしい せいかつ 上 なかよし」、「新版 たのしい せいかつ 下 はっけん」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する生活の教科用図書として、大日本図書の「新版 たのしい せいかつ 上 なかよし」、「新版 たのしい せいかつ 下 はっけん」を採択いたします。

続きまして、音楽の審議に移ります。

音楽について説明をお願いいたします。

【教育次長】

音楽について説明いたします。

選定委員会では、教育出版の「小学音楽 音楽のおくりもの」を選定いたしました。調査研究報告書の30ページから31ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書について特色を順次ご報告いたします。

まず教育出版です。日本の伝統音楽や諸外国の音楽について、音楽の多様さや特徴、おもしろさを感じられるよう配慮されている。題材名とともに共通事項が表示されている。共通事項に関する巻末の資料が豊富である。音楽づくりについては、幅広い音楽活動により視野が広げられるよう配慮されている。折り込みの写真がダイナミックで、児童の興味関心を高める。

教育芸術社です。日本と世界の音楽について、系統的に配列されている。琴について丁寧に扱っている。題材について、共通事項のうち核となるものが表示されている。音楽づくりについては、リズム、音色、旋律を中心に、低学年から高学年まで系統的に教材が配列されている。バランスがとれたレイアウトで見やすい。

専門調査員との質疑の中では、どちらの教科書も、音楽を愛好する心情、豊かな感性を育む題材、基礎的な能力を培うための教材の選曲に配慮されており、児童がめあてを持って表現を深めていく学習内容について十分な配慮がなされているとの報告がございました。

また、学習指導要領が変わらない中での教科書の改訂であるが、教育出版につきましては、挿絵や写真がより詳しく鮮明になっている。教育芸術社については、題材の目標を達成するための教材を再編成している部分が多い。また、どちらも題材ごとに共通事項が示されているが、多過ぎる場合、その示し方や示す量によって、教師によって授業の重点の置き方に差異が生じる可能性があること、国歌君が代の扱いについてやや違いがあること、音楽をあらわすいろいろな言葉について教育出版はまとめて掲載している点に違いがあることなどの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版を推す意見としては、美しい写真や表情豊かな子供の写真があり、魅力ある紙面構成である。表現や言語活動を大切にしている。国歌君が代の扱いが丁寧である。専科の先生も多く、豊富な情報量から選べると思うので、子供から見たら教育出版がインパクトがある。教育芸術社を推す意見としては、共通事項の扱いがわかりやすい。系統性を重んじている。古くから歌い継がれてきた歌の系統的な扱いがよいなどの意見があり、選定委員の意見が分かれたため、挙手による採決を行いましたところ、教育出版6票、教育芸術社1票でしたので、教育出版の「小学音楽 音楽のおくりもの」を本市の小学校の音楽教科書として選定することといたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま音楽に関しての説明がありました。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

鎌田委員、お願いいたします。

【鎌田委員】

いろいろ、教育出版のほうが写真とかイラストとかが豊富だというようなご意見があったのですが、教育芸術社のほう、例えば、同じ曲名で「おぼろ月夜」があるのですが、片方は縦書きの歌詞で背景に写真がしっかり載せられていて、見開きの大きい写真などはないのですが、先ほどのご指摘の中にもございましたが、しっかりイメージが伝わる、思いが伝わるということを前面に出して、これは音楽に非常に大事なところかなと思いましたが、その辺、私も捨てがたい部分があるかなというふうに思いました。

【委員長】

今のご意見に対していかがでしょうか。

指導主事、お願いします。

【指導課副主幹（音楽科指導主事）】

両方とも大切に歌詞のほうも扱っておりますし、見開きのページがあって、教育出版のほうはパッと見たときにインパクトがあって、縦書きの歌詞が書いてあって、その次のページに楽譜のほうが載っている、そのような流れになっておりますし、教育芸術社のほうも、日本語の説明というのを大切に扱っているということで、どちらとも日本の楽曲については大切に扱っていると思っております。

【委員長】

そのほか何かご意見ございますでしょうか。

鎌田委員からは、教育芸術社のほうがよろしいとして理解してよろしいでしょうか。

【鎌田委員】

はい。

【委員長】

そのほか何か。

篠田委員。

【篠田委員】

私もこれを見ると、教育芸術社のほうが入り口では興味を子供たちが引けるのではないかなというところです。あと、国歌の取り上げ方については、具体的にはどうなのでしょう。

【指導課副主幹（音楽科指導主事）】

「君が代」に関しましては、教育出版のほうは、見開き2ページで、歌詞に出てくる「さざれ石」というものの写真が掲載されて、丁寧な扱いとなっております。それから、教育芸術社のほうでは、全学年、背表紙のほうに統一されて掲載しております。子供たちが見るときに探しやすい、そのようなよい点が両方ともございます。

【委員長】

そのほか何かご意見ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、ただいま鎌田委員と篠田委員から、選定委員会が推した教育出版ではなく、教育芸術社のほうがいいのではないかというような意見が出ました。

それでは、これは全員一致ではありませんので、採決に移ります。

事務局から各委員に投票用紙を配付してください。

採決の方法は、先ほどと同様です。

(投票用紙配付)

【委員長】

それでは、投票箱の中に何も入っていないことを確認してください。

(投票箱点検)

【委員長】

それでは、投票いたします。

(投票・開票)

【委員長】

それでは、開票の結果を発表いたします。

教育出版が3票、教育芸術社が2票。

音楽の教科用図書については、投票の結果、平成27年度本市立小学校において使用する教科用図書として、教育出版の「小学音楽 音楽のおくりもの」を採択することといたしました。

続きまして、図画工作の審議に移ります。

図画工作について説明をお願いいたします。

【教育次長】

図画工作についてご説明いたします。

選定委員会では、開隆堂出版の「図画工作」を選定いたしました。調査研究報告書の32ページから33ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書について特色をご報告いたします。

開隆堂出版です。題材の制作過程を写真や図版でわかりやすく紹介している。特に専門的な技法が必要な版画は紙面を割いている。それぞれの題材の中に、材料、用具、技

法、色と形について配列し、基礎的・基本的な知識と技能を身につけられるよう配慮している。魅力ある児童の作品例が多く掲載されており、作品の質が高い。

次に日本文教出版です。児童の活動写真を多数掲載し、児童の発想の広がりをもつよう配慮している。材料や用具の扱いを巻末にまとめて、詳しく、わかりやすく示している。制作しやすそうな作品例が豊富で、すぐに活用できる題材を多く扱っている。

さらに、専門調査員との質疑の中では、本市の図画工作、美術教育の流れから言うと、子供たち一人一人の思いを大切に、それに合った材料や技法を選択させ、表現方法を選んで自己決定できるような題材が掲載されている教科書が本市に合っているとの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、開隆堂出版は、本市の図工・美術は、これまで培ってきたものがあり、とても高いレベルにあるので、質の高い児童作品が多く掲載されている点がよい。児童が興味関心を持って作品に取り組む意欲を持つ。児童作品が紹介されており、子供たちにアイデアやヒントになって直接伝わる。道具の使い方や作業手順の説明が丁寧である。作家の作品も多く紹介されているなどの意見が挙がり、全員一致で開隆堂出版の「図画工作」を本市の図画工作の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま図画工作に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

鎌田委員。

【鎌田委員】

今、道具の使い方であるとか作業手順の説明がきめ細かいとかということが選定理由の一つだというようなご説明がありました。私は、それに加えて開隆堂の場合は、発想のヒントを重視して、「いいこと考えた」とか「考えを広げてみよう」とか、そういう点も素晴らしいと思うのですが、先ほどの道具の使い方とか作業手順のように、いろいろ丁寧に書かれているということは大変いいことではあると思うのですが、特に若い先生の場合に、ベテランの先生は違うのかもしれませんが、新しく工夫をしたり教材について事前の準備について等、教員としての成長に逆に親切過ぎることがマイナスになるというような心配はないのでしょうか。

【指導課主幹】

今のご質問で、各教科の選定の議論の中では、やはり、そういう若い先生が多いとい

う実態を踏まえた議論がたくさん出ております。若い先生方にはよく、教科書を教えるのではなくて、教科書で教えるんだというふうに指導しています。教科書というのは主たる教材ではあるのですけれども、これをなぞっていくだけでは、先生おっしゃるとおり、教師としての成長はマイナスというか望めないということになるかと思えます。授業の前に十分に教材研究をしまして、教科書を上手にを使って授業を行えるように育てていきたいなど、そういうことが必要だろうというふうに思っております。

ただ、若い先生が使うということを考えますと、授業の中で、今、何を、どんなふうには、何のために学習しているのかということがはっきりとしていることだとか、いろいろな作業、実験などありますけれども、安全に確実に実行できるために、ある程度丁寧な記述はどうしても必要になってくるだろうと思えます。また、安全への配慮、こういったことも、若い先生、それから小さな子供たちが学習するというを考えますと、そういった配慮も十分なものが求められている、そういった面で教科書選定の議論が行われてきました。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

よろしいですか。

【鎌田委員】

はい。

【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問等ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、図画工作の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した開隆堂出版「図画工作」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する図画工作の教科用図書として、開隆堂出版「図画工作」を採択いたします。

続きまして、家庭の審議に入ります。

それでは、ご説明をお願いします。

【教育次長】

家庭についてご説明いたします。

選定委員会では、開隆堂出版の「小学校 わたしたちの家庭科」を選定いたしました。調査研究報告書の34ページから35ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書について特色をご報告いたします。

東京書籍です。基礎的・基本的な知識及び技能の定着を目指した内容を基盤として、日常生活に生かせるような発展的な構成で、実践的な態度を育てるよう考慮されている。題材名が学習のねらいをあらわす言葉で設定されており、わかりやすい。作業の安全、衛生について適切に配慮されている。

次に開隆堂出版です。4つの内容がバランスよく配列されており、2年間の見通しを持って学習し、振り返りながら成長を確認できるよう工夫されている。他教科や総合的な学習の時間等と関連する内容が豊富に取り上げられている。作業の安全、衛生について丁寧に記述されている。

さらに、専門調査員との質疑の中では、どちらも2年間を見通して4つの内容を関連づけて学習できるよう構成されており、無理なく基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図れるよう配慮されているとの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえまして、選定委員で協議した結果、開隆堂出版が、他教科等との関連性がわかりやすい。日常生活に密着している。安全・衛生面が明確である。思考場面では豊富な情報を提示している。技術の指導の面で、製法や調理の手順は写真が多く、丁寧に説明しているなどの意見があがり、全員一致で開隆堂出版の「小学校 わたしたちの家庭科」を本市の家庭の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま家庭に関しての説明がありました。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

鎌田委員。

【鎌田委員】

今、採択の理由に、思考場面で豊富な情報を提供している、情報があるというところですが、ボタンが取れたらどうする、どう困るというのがあって、こういうふうな観点というのは本当に思考を促すんだなというふうに関心いたしました。ご意見に賛成いたします。

【委員長】

そのほか何かございますか。

今、「生きる力」というのが一つのキーワードになっているのですけれども、そういう観点からも、小学校のときから少しでも生活力をつけるためにも、生きる力を育むことは非常に大事だと思います。そういう観点からも、この教科書は両方ともすぐれておりますか。

【指導課副主幹（家庭科指導主事）】

開隆堂出版、東京書籍とも、その点については十分配慮された内容になっております。

【委員長】

そのほか何かございますか。よろしいですか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、家庭の教科用図書につきまして採決いたします。

選定委員会が選定した開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科 5・6」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する家庭の教科用図書として、開隆堂出版の「小学校 わたしたちの家庭科 5・6」を採択いたします。

続きまして、保健の審議に入ります。

それでは、保健について、ご説明をお願いします。

【教育次長】

保健についてご説明いたします。

選定委員会では、東京書籍の「新編 新しい保健」を選定いたしました。調査研究報告書の36ページから39ページに各社の教科用図書についての詳細な報告を掲載してございます。

専門調査員の報告・質疑から、各社の教科用図書についての特色をご報告いたします。

まず東京書籍です。学習の流れがわかりやすい紙面構成で、学習方法が明確に示されており、主体的に学習に取り組むための工夫がある。他教科等との関連が明示されている。巻末には基礎知識の確認問題が用意されており、資料も充実している。

次に大日本図書です。学習意欲を高め、課題を明確にして学習が進められるよう配慮されている。学習したことを生活の中で実践に移せるような働きかけをしている。キャラクターによる説明は親しみやすく理解しやすい。

文教社です。児童自らが学習課題を見つけ、解決し、日常生活での実践へと結びつくよう課題が設定されている。調べ学習を支援するための資料が豊富である。わかりやすいイラストと親しみやすいキャラクターを用いている。

光文書院です。健康で安全な生活の大切さを理解し、実践的能力の育成を重視している。身近で起こるけがや事故の原因を取り上げ、解決できる内容になっている。イラストや図、写真がバランスよく配置され、親しみやすい紙面構成である。

最後に学研教育みらいです。健康についての科学的な資料を提示し、主体的に学習できるように構成されている。まとめのページは実践に結びつくよう配慮されている。他教科等との関連が明示され、工夫されている。

さらに、専門調査員との質疑の中では、いずれも目標を達成するために必要な内容を取り上げ、年間の授業時数を考慮して適切に構成されていること、基礎的・基本的な学習をした上で発展的な学習を進められるよう配置されていること、また、各社に大きさや重さに違いはあるが、学習に大きな影響はないものと考えられることなどの報告がありました。

また、今回の改訂では、防災教育に関することと、心の健康につきましては、いじめや自殺防止を意識した学習内容について各社とも取り上げられたことが報告されました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、問題解決的な学習に取り組めるよう構成が工夫されている。心の健康や安全教育についても適切に取り上げられている。学習の流れが明確であり、指導しやすい。他教科等との関連も明示されている。1時間の学習課題が明示され、学習しやすい分量にまとめられているなどの意見が出され、全員一致で東京書籍の「新編 新しい保健」を本市の保健の教科書として選定いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま保健に関する説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

石坂委員。

【石坂委員長職務代理】

保健の年間授業時数、それをお伺いします。

それと、保健の専門の先生は小学校にいらっしゃるのでしょうか。

【保健体育課副主幹（保健体育科指導主事）】

まず、授業の時数についてですけれども、3年生以上に保健の学習があります。学習指導要領では、「効果的な学習が行われるように、適切な時期にある程度まとまった時間を配当すること」というふうにされています。本市の実態といたしましては、3～4年生、中学年で合計8時間、5～6年生で合計16時間を割り振っております。ですので、3年生4時間、4年生4時間、5年生8時間、6年生8時間というような時間を割り振っておることが多いです。

また、保健専門の授業を行う教員はおりませんので、小学校の場合は担任が行うことがほとんどです。ただ、内容に応じまして、養護教諭または栄養士とのチームティーチング等を行っております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか何かご意見、ご質問ございますか。

いじめに関しては、具体的にどのような捉え方をしておりますか。

【保健体育課副主幹（保健体育科指導主事）】

東京書籍の教科書で言いますと、「心の発達」のところですか。不安や悩みがあるとき、どうしますかというようなところ、ページ数でいきますと、5～6年生の教科書の2ページから始まるころにはあるのですが、6ページ、「不安やなやみがあるとき」というところがあります。そこに、いじめられたらどうしましょうかという内容で取り上げられております。

また、9ページには、いろいろな相談窓口ということで、困ったときにはこうい

ころに相談できますよというような案内も載っております。
以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

いじめに関しては、教科書よりももう少し詳しく先生が授業で、それこそ教科書を教えるのではなくて教科書で教えるという形でやっていただけたというふうに考えてよろしいですね。

【保健体育課副主幹（保健体育科指導主事）】

そのとおりです。

【委員長】

ありがとうございました。

そのほか何かご意見、ご質問等ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、保健の教科用図書について採決いたします。

選定委員会が選定した東京書籍「新編 新しい保健」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立小学校において使用する保健の教科用図書として、東京書籍「新編 新しい保健」を採択いたします。

続きまして、特別支援教育の審議に移ります。

ご説明をお願いします。

【教育次長】

学校教育法附則第9条の規定による一般図書選定についてご説明をいたします。

特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の教科書につきましては、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作の特別支援学校用教科書、星のマークのある、いわゆる星本を使用することが原則となっていますが、児童生徒の障害の状態や発達の段階及び特性への配慮など、実態に応じて、学校教育法附則第9条の規定により、一般図書の中から教科用図書を選べることになっております。

この一般図書につきましては、毎年度採択をしていただいているものでございますが、選定に当たりましては、先ほど申しました児童生徒の障害の種類や程度に合った教科用図書を選ぶということから、選択の幅を持たせることが必要であると考えております。したがって、選定委員会といたしましては、専門調査委員会の報告の中で、特に問題となる事項が指摘されたり、確認されたりといったことがございましたので、新しく追加された8冊について加えるかどうかについて協議をいたしました。

選定委員会からは、「ゆっくり学ぶ子のための国語4」については、難しそうであり、使用する児童生徒は少ないのではないかと疑問が出されましたが、既に同シリーズの1から3を使用している児童生徒もおり、その継続発展としてシリーズ4を加えることは適当であるとの結論に至りました。また、多くのリストから児童生徒の実態に合わせて最適なものを選択するには、校内体制を整えることも大切であるという意見も出されました。

選定委員会では、このような議論を経て、新しく追加されました国語4冊、生活・社会3冊、外国語1冊、計8冊を全て選定したところでございます。

具体的には、議案別表3の特別支援学校及び特別支援学級の使用教科書で、学校教育法附則第9条の規定による一般図書の表で、ゴシック体で表記している部分でございます。

国語で、12番、偕成社の「エリック・カールの絵本 できるかな？ーあたまからつまさきー」、20番のこぐま社の「かおかおどんなかお」、22番のジュラ出版局「かいてけしてまたかける あいうえお」、29番の同成社の「ゆっくり学ぶ子のための国語4」の4冊。生活・社会では、5番の学研マーケティングの「はっけんずかん のりもの」、9番の同じく「あそびのおうさまずかん1 からだ」、31番、日本教育研究出版の「私たちの進路あしたへのステップ」の3冊です。最後に外国語、6番、戸田デザイン研究室の「和英えほん」1冊でございます。

なお、このほか、明朝体で記載の一般図書は昨年度も採択していただいておりますので、本年度選定した8冊を加えてよろしいかご審議をいただきまして、国語で43冊、算数・数学で25冊、生活・社会で31冊、職業・家庭で17冊、外国語で6冊の合計122冊を採択していただくということになります。

あわせて、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書、いわゆる星本につきましても採択をお願いいたします。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいま特別支援教育に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

鎌田委員。

【鎌田委員】

生活・社会分野の31番で加わった「私たちの進路あしたへのステップ」というものがありますけれども、キャリア教育というのは大変重要なことだと思うのですが、どのような児童生徒さんを想定してこれを加えたというところを教えてください。

【総合教育センター副主幹（特別支援教育指導主事）】

基本的には、小学生ではなくて中学生を対象に考えております。

【鎌田委員】

了解です。

【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問ございますか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、特別支援教育の教科用図書について採択いたします。

本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

平成27年度本市立特別支援学校及び特別支援学級において使用する教科用図書として、本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が

著作の名義を有する教科用図書を採択いたします。

以上により、議案第43号「平成27年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級使用教科用図書の採択について」は、全種目の教科用図書について採択を終了し、可決されました。

続きまして、議案第44号「平成27年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」を議題といたします。

指導課、説明をお願いいたします。

【指導課長】

それでは、11ページをご覧ください。議案第44号「平成27年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」、ご審議をお願いいたします。

平成27年度に船橋市立船橋高等学校で使用する教科用図書を採択するに当たり、船橋市教育委員会組織規則第3条第15号の規定に基づきまして議決を得る必要がございます。したがいまして、本議案を上程させていただいております。

選定教科書につきましては、13ページ、14ページでございます。内容につきましては、船橋市立船橋高等学校校長でございます山崎選定委員長よりご説明申し上げますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

【船橋高等学校長】

それでは、市立高等学校使用教科用図書の選定につきまして、内容を説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

お手元でございます平成27年度使用教科用図書研究報告書を用いてご説明をいたします。

まず最初に、2ページ、3ページをお開きください。

教科書の選定に当たりまして、4つの観点から研究いたしてございます。1.内容、2.組織、3.表現、4.造本。なお、それぞれの内容につきまして、(1)から(4)等に細かい内容が記載されておりますので、この後ご説明いたします研究報告書の内容がこの観点とリンクしておりますので、ご覧いただければと思います。

こちらの観点で選定をしました結果、4ページ、5ページに平成27年度選定教科書一覧がございますが、この60冊を選定いたしました。このように選定本が多いのは、本校が、普通科、商業科、体育科の3学科を有すること、さらに、普通科においては、文系、理系、さらに留学教育コース等の3つの教育課程を設定して、きめ細かい指導を行っているからでございます。

次に、本日までの選定の経過について申し上げます。

まず、教科書選定委員会を設置いたしまして、5月27日に第1回の委員会を開催いたしました。その後、各教科ごとに教科主任を中心に教科書研究会を3回から5回開催

し、選定本を教科書選定委員会に報告することといたしました。これを踏まえ、6月20日に、保護者の代表といたしましてPTA会長と副会長2名を加え、第2回の委員会を開催し、ご意見を頂戴いたしました。その結果、来年度につきましては、4ページ、5ページの一覧のとおり、新規本といたしまして、それぞれのページ、右側から2つ目の欄に「新規」という欄がございますが、そちらに丸がついております17冊、継続本といたしまして43冊を選定いたしております。

なお、新規本につきましては、新学習指導要領の学年進行による実施に伴いまして、来年度が3年目となりますので、3学年で使用するものが増えております。

なお、数学、理科につきましては、新学習指導要領を先行実施している関係で、昨年度、この会で、採択についてご説明させていただきました。したがって、数学、理科については、3年生が取り扱う選定本のところの新規に丸がついていないという状況になります。本日ににつきましては、新規本17冊の選定理由について説明をさせていただきます。先ほど、冒頭で申し上げました教科書研究の4つの観点、それと比較した本と対比する意味から、6ページ以降の調査研究報告書のページでお示ししながら説明をさせていただきます。

なお、新規本17冊のそれぞれの選定理由書については、巻末169ページから185ページにも記載がありますので、参考としていただければと思います。

それでは、まず、古典Aについて、15ページをお開き願います。実は15ページと16ページに古典Aが2種類載っております。15ページのものは、普通科3年生、文系、そして留学教育コースが2単位で学習するものです。16ページにつきましては、体育科3年生が2単位で学習するものでございます。この2冊を選定いたしました。それに対して比較本といたしまして、17ページ、18ページに他社の教科書が載っております。

まず、15ページについてです。選定いたしました東京書籍の教科書は、古文と漢文のどちらの分野も精選された教材がバランスよく採用されております。さらに、親しみやすい内容の教材が取り上げられており、また、「コラム」「言語活動」「文法の要点」という項目により、表現活動をスムーズに行えるなどを総合的に評価し、選定をいたしました。

続いて、16ページ、体育科の3年生が使う三省堂の教科書は、古文、漢文の両方とも教材が精選されていることに加えて、特に古文において、説話文学の中から平易で親しみやすい教材が取り上げられている点など、また、全体的に平易な文体で読みやすくわかりやすい表現や工夫がされている点を評価いたしました。

比較本につきましては、17ページの出版社につきましては、「内容」の(3)、(4)、あるいは「組織」の(2)、(3)、「表現」の(1)等で選定に至らなかった内容等について書かせていただいております。また、18ページの出版社につきましては、「内容」の(2)、「組織」の(2)等で同じく選定しなかった理由を記載させていただきました。

次に、25ページ、地理・歴史科の日本史Bです。この科目は、普通科3年生、文系コース、そして留学教育コース、商業科3年生、体育科3年生が4単位で学習するものがございます。選定いたしました清水書院の教科書は、文章が比較本と比べて難解過ぎず、また平易過ぎない点、また、難解な資料には口語訳が掲載されている点、写真や図版、絵画資料が豊富で解説が丁寧である点を評価し、選定いたしました。

26ページの比較本につきましては、「内容」の(4)、「表現」の(2)のところで選定しなかった理由について触れさせていただいております。27ページの比較本については、「内容」の(4)について同じく記載をさせていただきました。

次に、地理B、31ページをお願いいたします。この科目は、普通科3年生、文系コース、4単位の科目でございます。選定した帝国書院につきましては、既に1年生で履修している地理Aの授業との連続性、文化や民族の学習において歴史的な背景と関連づけながら説明・考察がなされている点、また、「技能を磨く」というコーナーで教科書に直接書き込むことができ、地理的技能を養う工夫が見られていることを評価いたしました。

32ページの比較本につきましては、「内容」の(4)、「表現」の(1)、33ページの比較本につきましては「内容」の(4)において、選定に至らなかった理由を記載させていただきました。

次に、37ページをお願いいたします。公民科、現代社会でございます。この科目は、普通科、商業科、体育科3年生が2単位で学習する科目です。選定した帝国書院の教科書は、導入に写真やイラストを多用して生徒の興味や関心を引く工夫がなされていることや、多彩な特設ページで主体的な学習活動を促すことができる点、また、具体的な事例や数字を用いて理解を図るようにしている点などを評価し、選定をいたしました。

38ページの比較本につきましては、「内容」の(2)、「表現」の(1)、39ページの比較本につきましては「内容」の(6)で、選定に至らなかった理由を記載してございます。

次に、40ページ、政治・経済でございます。この科目は、普通科の3年生、文系と留学教育コース、体育科3年生が2単位で学習する科目です。選定した清水書院の教科書は、わかりやすい文言でまとめられており、基礎・基本的な事項の習得に適していること、今日的な課題について、「考えてみよう」や「深める視点」という形式で生徒に考えさせる構成になっていること、また、具体的な事例を多く取り上げて生徒の理解を促していることを評価いたしました。

41ページの比較本は「表現」の(2)、そして、42ページの比較本は「表現」の(1)、(3)等で、選定に至らなかった理由を記載してございます。

ページが少し飛びます。92ページをお願いいたします。芸術科、音楽Ⅱになります。この科目は、普通科3年生、文系と留学教育コース、体育科3年生が2単位で学習する科目でございます。以下で説明いたします芸術の4科目につきましては、同じ普通科3

年生、文系、留学教育コース、体育科3年生の2単位ですので、科目毎の説明では省略させていただきます。

選定いたしました教育芸術社の教科書は、表現では、ポピュラー、合唱歌曲、諸民族の音楽、また器楽など。また鑑賞の面では、領域も広く、ラテン、西洋、日本や世界の伝統音楽等、さまざまな音楽を多面的に取り上げ、より多くの音楽体験ができる点を評価いたしました。また、1年生の音楽Ⅰで使用する教科書との継続性も考慮してございます。

93ページの比較本につきましては、「内容」の(3)、「組織」の(2)、94ページの比較本につきましては、「組織」の(2)、同じく(3)等で、選定に至らなかった理由を掲載してございます。

98ページ、美術Ⅱでございます。選定いたしました日本文教出版の教科書は、基礎・基本により重点を置いた構成になっている点や漫画表現など生徒に身近な題材が設定され、意欲を高める工夫が見られる点を評価し、選定をいたしました。また、1年生の美術Ⅰで使用する教科書との継続性も考慮しました。

99ページの比較本につきましては、「内容」の(4)、「造本」の(2)等で、選定に至らなかった理由について記載してございます。

続いて、101ページ、工芸の教科書です。この科目は、出版する会社が1つしかなく、比較する対象がございません。選定いたしました日本文教出版の教科書は、作例が多く、日本国内だけではなく、世界諸国の視点で工芸について観察する構成となっております。また、伝統作品だけでなく、モダンデザインなども鑑賞でき、素材の種類や特徴も詳しく掲載されております。大変実用的な教科書で、選定することが適当であると判断をさせていただきました。

続きまして、105ページ、書道Ⅱです。選定しました教育出版の教科書は、古典作品の適切な箇所を用いており、臨書から創作活動まで授業展開を図ることができます。また、他社の教科書のように斬新なタイトルや紙面構成がない分、生徒の創作活動に必須の古典図版を重視した構成になっており、書の世界を楽しむ授業展開が可能であると考えました。また、他の芸術科目と同様、1年生の書道Ⅰを既に履修した生徒の継続性も考慮しました。

106ページの比較本につきましては、「内容」の(3)、(4)、「表現」の(1)、(2)等で、また、107ページの比較本につきましては、「内容」、「組織」、「表現」、「造本」、それぞれの項目で、選定に至らなかった理由について記載がされております。

次に、英語科、114ページをお願いいたします。英語表現Ⅰでございます。この科目は、普通科1年生、体育科3年生が2単位で学習する科目でございます。選定しました啓林館の教科書は、生徒同士が英語を使ってやりとりをする機会が設けられており、練習問題の難易度や出題形式が適切です。また、写真やイラスト、図なども適切に配置して、生徒の興味や関心を引き、理解を促す工夫が見られることを評価し、選定いたし

ました。

115ページの比較本につきましては、「内容」の(2)、また「組織・配列」の(1)、(2)、116ページの比較本につきましては、「内容」の(1)等で選定に至らなかった理由を記載してございます。

続きまして、129ページをお願いいたします。コミュニケーション英語Ⅲです。この科目は、普通科3年生4単位、商業科3年生3単位の科目になります。選定した東京書籍の教科書は、題材が、異文化理解や日本文化、物語、社会問題など多岐にわたっており、偏ることなく、かつバランスよく選ばれております。生徒にとって親しみやすく、興味や関心を持って取り組めるように配置されていること、写真や図表の量が適切で、視覚的に理解しやすいつくりになっていることを評価いたしました。

130ページの比較本につきましては、「内容」の(3)、(4)、「組織」の(2)、「表現」の(2)、さらに、131ページの比較本は「内容」の(2)等に、選定に至らなかった理由を記載してございます。

同じコミュニケーション英語Ⅲでございますが、戻っていただいて、126ページでございます。こちらは、体育科3年生の3単位の科目でございます。一覧表のほうでは今説明した順番に載っております。報告書の順番だけ逆になってしまいましたので、一覧表の順番で説明をさせていただきます。選択しました東京書籍の教科書は、練習問題の難易度や文法事項の提示が適切で、生徒に積極的に英語を使ってみようとする意欲を持たせる工夫が見られます。また、写真やイラスト、図などが豊富で、かつ適切に配置されており、視覚的にもわかりやすいつくりとなっていることを評価いたしました。

比較本の127ページにつきましては、「内容」の(3)、(4)、「組織」の(2)、「表現」の(2)、また、128ページの比較本につきましては、「内容」、「組織」、「表現」それぞれのところで、選定に至らなかった理由について記載をしてございます。

情報でございます。141ページをお願いします。情報科のITキャリア基礎の科目です。この科目は、普通科の3年生、文系と留学教育コースが2単位で学習します。選定いたしました東京書籍の教科書は、基礎的なことから発展的な内容まで取り上げられており、社会の変化に伴う新たな事象にも対応可能な構成となっております。また、ほぼ全ての内容が見開き2ページにまとめられており、授業時において内容を確認しやすく、生徒にとって使いやすい教科書であると言えます。

142ページの比較本につきましては、「組織」の(2)、「造本」の(1)、143ページの比較本につきましては、「組織」の(2)に、選定に至らなかった理由を記載してございます。

続きまして、商業科の科目でございます。163ページをお願いいたします。ビジネス実務でございます。この科目は、商業科3年生が2単位で学習する科目です。選定いたしました実教出版の教科書は、例えば、名刺交換などのビジネスシーンにおける場面が日本語と英語のどちらでもロールプレイングできること、実際のビジネスの場面を

イメージするためのイラストや図版あるいは写真等が豊富にあることなどが、生徒にとってわかりやすい内容、構成であることを評価して、選定をいたしました。

比較本は164ページでございます。「組織」の(3)のところ、検定試験への対応の不足を取り上げさせていただいております。

次に、165ページ、電子商取引でございます。この科目は、商業科3年生2単位の科目です。選定した実教出版の教科書は、動画編集のときに本校で使用しておりますコンピュータソフトについて、マイクロソフト社製のものを使用しており、本校の施設設備と一致しております。他社の教科書はアドビー社製のソフトを用いており、本校では使用に対応することが困難であり、以上の点から選定をさせていただきました。

166ページの比較本に、「内容」の(4)について同じことを掲載させていただいております。

最後に、167ページ、経済活動と法でございます。この科目は、商業科3年生2単位の科目でございます。選定いたしました実教出版の教科書は、経済活動において法律の観点から考察するというやや難解な内容について、生徒に身近な事例やイラストを用いて、他社の教科書よりもわかりやすい内容、構成であり、選定をさせていただきました。

168ページの比較本について、「表現」の(2)のところ、選定に至らなかった理由を記載してございます。

以上が新規本17冊についての選定理由報告でございます。継続して選定いたしました43冊とあわせましてご審議いただければと思います。よろしく願いいたします。

【委員長】

数多くの説明、ありがとうございました。

ただいま、新規、変更本を含む全科目の船橋市立船橋高等学校使用教科用図書についての説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

鎌田委員。

【鎌田委員】

意見というより感想なんですけれども、大変多くの選定本と比較本を検討されて、特に比較本と選定本がどう違うかという、大変きめ細かく報告いただけたと思います。特にコメントの中で、市船の生徒さんの理解レベルであるとか、学習状況のレベルであるとか、教育方法の具体的な観点等から、本当に全てをきめ細かくチェックされているんだなというようなことがトータルとして大変よく理解できました。ありがとうございました。

【委員長】

石坂委員。

【石坂委員長職務代理】

大変お疲れさまでございます。ご丁寧なご説明、明確な選定理由を教えていただきまして、ありがとうございました。市船の普通科、そして、商業科、体育科、これだけの子供たちのためにきちんと見ていただいていると確信したところでございます。ありがとうございました。

【委員長】

私も感想ですが、私、市船をよいしょするわけではないのですが、仕事柄、市船の生徒とよく接する機会があります。市船の生徒さんは本当によく指導されているなという感想をいつも持ちます。また、今のように本当にきめ細かく、教科書についても、こういうふうにやろうと先生方が考えられて選定してくださるんだなということで、改めて、市船、頑張ってもらいたいというような気を持ちました。ありがとうございました。

それでは、議案第44号「平成27年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」を採決いたします。

全科目の教科用図書について選定委員会が選定した平成27年度選定教科書一覧のとおり採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めます。

議案第44号「平成27年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」は、全科目の教科用図書について、平成27年度選定教科書一覧のとおり採択し、可決いたしました。

本日より予定していました議案等の審議は終了いたしました。これで教育委員会会議臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後5時30分閉会